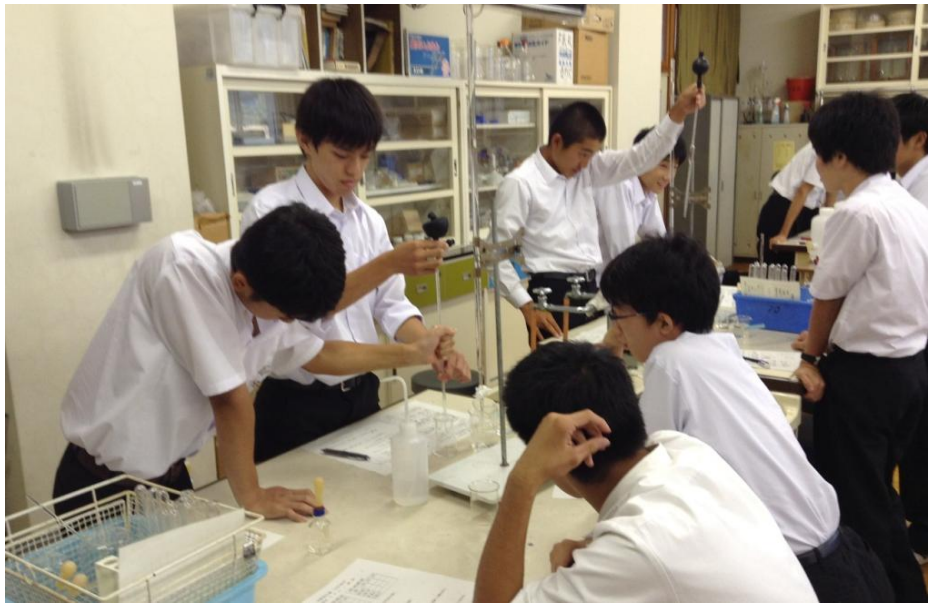


米沢興讓館高校SSH通信

FSコース別研修



平成28年度に発行したSSH通信では、何度か1年生の話題に触れてきた。今号では、その1年間にわたるFS（異分野融合サイエンス）のコース別研修後半及びFS表現での各コース、班での発表会について特集する。

FSコース別研修とは、科学は今の世の中でどれだけの分野に関わり、利用されているのかを知ることによって視野を広げ、今後の探究活動に活かして行こうという活動である。この活動を8つのコース（「人間社会とロボット」、「人間生活と化学」、「スポーツ・保健とライフサイエンス」、「社会と科学」、「工学と医療」、「伝統野菜のサイエンスアプローチ」、「つながりの科学」、「アートを科学する」）に分け、大学や研究施設をはじめとした多くの外部施設にご協力頂き、見学や体験、講座等を実施させて頂いた。その様子を振り返る。



「FSコース別研修を終えて」
（1年男子）

私たちスポーツ班は研修で蔵王坊平スポーツヴィレッジを訪れました。この施設はナショナルトレーニングセンター（NTC）高地トレーニング強化施設として文部科学省からの指定を受けていて、全国でも二ヶ所しかない施設です。施設内には体育館やグラウンド、本格的なトレーニングルームなどの他に、スポーツ科学最先端の機器が備わっていました。ここでは、空気中の酸素濃度を調節できる装置を使って標高3千m地点を再現し、その空間の中で人体にどのような変化があるかという実験をしました。この装置はスポーツ選手がトレーニングするときや、また生活の場としても使われていて、常に低酸素状態が保たれ、全身の酸素運搬能力が向上すると言われています。

アスリートに、より質の高い強化・育成活動を行う事の出来る拠点がここ山形にありました。

FS

表現

FS表現ではポスター発表やプレゼンについて講座を行い、人に伝える基礎を学んだ。FS表現においては、FSで学んだ事をポスターにし、それを英訳した。そして、FS表現で英語のスピーチについて学び、その集大成として発表会を行った。コースがばらけるようにグループ分けしていくつかの会場で他のコースの発表が聞けるようになった。その様子を振り返る。

「圧倒的経験」

（1年男子）

今回、FS表現では、1年生全員が自分達の研究成果を英語でプレゼンするという活動を行った。どの班も内容の濃い研究をしており、とても有益な時間だった。

私たち一年生は、一学期から、コースごとにわかれて分野が異なる様々な研究を行ってきました。今回のプレゼンでは、それらの成果を一枚のポスターにまとめて発表しました。私は、「アートを科学する」というグループの中で、混色の原理やそれを用いた実験についてまとめたプレゼンを行いました。自分を含め計四人での発表となったが、一人一人がプレゼンに向けて熱心な練習を行い、大変充実した発表をすることができました。日本語よりも先に英語の発表を行ったので、難易度が高く緊張したが、とても英語の勉強になったし、何より楽しかった。今回の経験は、たくさんの分野について学べる、とても良い機会だった。



071

山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

